

農林課長の仕事宣言！ 進行管理表

農林課長 古賀 和教

①重点施策項目名	地産地消の取組を推進します
②目標値	生産者と消費者の交流会 〔平成29年度〕（現状値）8回 ⇒ 平成29年度末 8回 〔後期基本計画期間〕 （平成26年度）8回 ⇒ 平成32年度末 8回
③今年度の取組方針	新鮮で安全・安心な地場産の農産物の生産及び販売による消費拡大と、生産者と協力し、農業体験や学校給食等を通じ、地産地消を推進します。
④上半期の取組内容	食ネット・鳥栖との食農連携協議については、会議に参加し情報交換を行っています。 7月に米米コンテストの応募作品の募集を行い、739点の応募があり入選作品12点を選出しました。
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 （次年度に向けて）	

◇所管部長の指示

上半期

現在の取り組みについては継続しながらも、次へつながる取り組みについても調査研究を行うこと。

下半期

農林課長の仕事宣言！ 進行管理表

農林課長 古賀 和教

①重点施策項目名	農作物のブランド化を図ります
②目標値	野菜作付面積 〔平成29年度〕（現状値）87ha ⇒ 平成29年度末 88ha 〔後期基本計画期間〕 （平成26年度）84ha ⇒ 平成32年度末 89ha
③今年度の取組方針	基幹作物である米・麦・大豆に加え、野菜等の産地づくりを進めるとともに、農作物の高品質化等の付加価値により、ブランド化を図ります。
④上半期の取組内容	新興作物の生産者から相談があり、現状と今後の方針等を聞き取り調査や圃場の確認を行い、関係者と連携し、規模拡大等に向けた協議を行いました。 鳥栖市の農作物をホームページに掲載し、広報を行ったところ福岡市のホテルから問合せがあり、生産者の紹介依頼がありました。
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 （次年度に向けて）	

◇所管部長の指示

上半期

農作物のブランド化については、地道な取り組みが必要であり、生産者に寄り添った取り組みを継続すること。

下半期

農林課長の仕事宣言！ 進行管理表

農林課長 古賀 和教

①重点施策項目名	集落営農組織の法人化を推進します
②目標値	集落営農組織の法人化 〔平成29年度〕（現状値）1組合 ⇒ 平成29年度末 2組合 〔後期基本計画期間〕 （平成26年度）0組合 ⇒ 平成32年度 8組合
③今年度の取組方針	法人化を検討されている集落営農組織に対して、法人化に関する課題、問題点等を解消し、法人設立に向けた取り組みを関係機関と連携し、推進します。
④上半期の取組内容	現在、法人化を検討している集落営農組合は、基里地区水田営農組合、麓東部地域営農組合、麓西部地域営農組、田代東部営農組合の4組合があり、それぞれの営農組合が開催している法人化発起人会・検討会に出席し、法人化に向けた課題、問題点の解消、法人化に向けた意志の統一を図るため、県、JAなどの関係機関と連携し対応を行っています。 また、麓東部地域営農組合については、10月7日に「農事組合法人ふもと東部」として法人の設立総会が行われました。
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題（次年度に向けて）	

◇所管部長の指示

上半期

農地の集約化・効率化、担い手不足の解消など、法人化のメリットを生かすためにも、今後も法人化の支援を行うこと。

下半期

農林課長の仕事宣言！ 進行管理表

農林課長 古賀 和教

①重点施策項目名	農村交流推進事業の取組を推進します
②目標値	イベント参加数 〔平成29年度〕（現状値）120人 ⇒ 平成29年度末 150人 〔後期基本計画期間〕 （平成26年度）一人 ⇒ 平成32年度 300人
③今年度の取組方針	自然豊かな地域資源が存在する地域休養施設・滞在型農園施設（栖の宿）周辺地域を都市と農村との交流拠点として、その地域資源を活用した取組を行っていきます。 また、基幹施設である地域休養施設、滞在型農園施設の大規模改修を実施します。
④上半期の取組内容	イベントについては、8月19日にコカ・コーラウエスト鳥栖市民の森で自然観察会、竹工作教室を開催し、25名の参加がありました。 河内河川プールについては、7月21日から8月31日まで開設し、約15,700人の利用がありました。 地域休養施設、滞在型農園施設の大規模改修については、設計業務を実施しました。
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題（次年度に向けて）	

◇所管部長の指示

上半期

農村交流拠点として魅力ある取り組みを展開していくこと。また、施設改修については、市民の皆様にとって使いやすい施設となるように考慮すること。

下半期